

小金井市役所インターンシップ（学童保育）

プログラム概要	：	学童保育にて子どもの保育や触れ合い方、その他の業務について学ぶ
実習先	：	小金井市さくらなみ学童保育所、小金井市ほんちょう学童保育所
実習先情報	：	東京都小金井市にある学童保育施設。
参加人数	：	2名
学部学科	：	教育学科
実習期間	：	令和5年8月7日～8月21日、令和5年8月21日～9月1日
本学担当教員	：	國吉正彦

【小金井市さくらなみ学童保育所 8月7日～8月21日】

○はじめに

さくらなみ学童保育所は、小金井市立小金井第一小学校の敷地内にあります。児童の住所によって、さんさん、さくさく、なみなみの3つのクラスに分けられています。小学校一年生から三年生までの児童が多く、非常ににぎやかな雰囲気でした。

○実習内容

- ・子どもとの遊び（外遊び、室内での遊び、工作など）
- ・朝学習、おやつ、お昼寝（読み聞かせ）の見守り
- ・机、床の清掃

○経験したこと、学んだこと、など

小学校一年生から三年生の児童と話し、遊ぶ楽しさを体感しました。簡単な言葉を選んで話すことの大切さや話を合わせることの大切さを学びました。遊びでは、子どものレベルに合わせて調節しながらも全力で楽しむことを意識しました。また、子どもならではの柔軟な思考や大人では発見できないことに気付く力に驚かされました。そして、学童の先生方は、悪事に対してきちんと叱りながらも楽しむときは楽しんでいる様子が見られました。このことから、「やるときはやる」と「楽しむ時は楽しむ」というメリハリを持って指導することが大切だと学びました。子どもと関わる仕事の大変さや忙しさを痛感しました。

○今後の展開、今後の学び、など

子どもに大切なことを伝えるためのコミュニケーションの仕方や子どもとの信頼関係の築き方をより追究していきたいと思いました。そのために大学での学びはもちろんのこと、実際に子どもたちと関わる機会を増やして経験を積んでいきたいと思いました。そしてその経験を自身の夢である学校教員へと繋げていきたいです。

○まとめ

小金井市民として小金井市の学童保育に貢献し、小金井市の教育の現状や児童の様子を学ぶことができました。また、子どもと関わる仕事の大変さとやりがいを感じることができました。

○担当者コメント

学童保育の仕事を体験することにより、子どもの多様性に触れコミュニケーションの取り方の難しさと重要性を学んだ。今後は、この経験を大学の授業や子どもと関わる機会を活用し、さらに学んでいてもらいたい。

○実習先コメント

学童の子どもたちと楽しそうに遊んでいる様子が見られた。子どもたちとうまく関わっている様子があって、将来的に教員に向いている。今回のさくらなみ学童保育所での実習の経験・学びが今後の大学生活・将来に活用してほしい。

【小金井市ほんちょう学童保育所 8月21日～9月1日】

○はじめに

ほんちょう学童保育所は武蔵小金井駅から徒歩9分の場所に位置し、小学校一年生から三年生までの児童の受け入れを行っている学童です。ほん1、ほん2と二つのクラスに分けられ、普段は放課後の保育をしており、夏休み期間は朝8時からの受け入れを行っております。

○実習内容

- ・子どもの遊びの補助
- ・学習、おやつの見守り
- ・お昼寝時の読み聞かせ
- ・全体遊びの企画、運営
- ・清掃、施設の補修

○提案したこと、発信したこと、等

全体遊びにて、私が幼い頃から続けてきたピアノという特技を生かして企画をしました。流行りの曲をキーボードで演奏し、子ども達に曲名を答えてもらうイントロクイズ形式の遊びを行いました。

○経験したこと、学んだこと

今まで私たちは、先生方から守られる立場だったのですが、今回実際に子ども達を守る立場となり保育者側からの視点で日々を過ごすことになりました。常に部屋全体へ注意を向け、死角をつくらないようにするのは困難で、慣れるまでにかなりの時間がかかりました。

また、相手が子どもであるため私たちとは感覚が違い、何気ない言葉遣いや態度により、傷つけてしまう可能性があることも注意する必要性がありました。片親の家庭を配慮した、「お父さん」「お母さん」ではなく「おうちの人」といった言い回しも、その一つでした。

さらに、学童保育において重要な点として、様々なスキルが求められることがありました。保護者や業者とのやりとりや、体調不良・怪我をした子どもの処置、工作、食育など、本来学校では事務職員や各教科の先生、給食センターの職員といった業務の分担を行っていることを全てこなす必要があり、学童職員の忙しさを身をもって学びました。

○今後の展開、今後の学び、等

子どもは私たちが思っている何倍も想像のつかない行動をしたり、思考能力を持っていたりするため、今回のような座学ではなく実際に関われることは大変貴重な経験でした。

今回学んだことは勿論、子どもとの関わり方など今後の教育実習や教員になった際、さらに追求していきたいと思いました。

○まとめ

武蔵野大学の教育学生として地域の教育機関と関わることができ、今の教育と地域の現状をより高い解像度で学ぶことができました。教育についてさらに研究し、よりよい社会がつかれるよう努力していこうと感じました。

○担当教員コメント

学童保育の仕事を体験することにより、子どもたちの言動の多様生について知るとともに、対応方法の難しさを学んだ。今後は、この経験を活かし子どもの成長や発達についてさらに学んでいてもらいたい。

○実習先コメント

どんなに念入りに打ち合わせをしても、その日その子の様子を読めず、上手くいかないことばかりです。しかし、それを繰り返し、私たちは保育をしています。学校だとクラスを一人で持つようになると思いますが、迷った時には一人で考えず、必ず相談などをすると辛くないと思います。頑張ってください！